

TUT FORMULA通信

2007.0ct

新チーム始動!!



2008年度のマシンコンセプトは？

メンバー紹介 ~新たな精鋭達~

技科大祭でTG02が疾走



新チーム結成!!

全日本学生フォーミュラ第5回大会を終え、早一ヶ月が過ぎました。大会結果は、総合32位と第4回大会よりも、よい成績を収めることができ、この勢いで第6回大会もさらにも上を目指すべく、現在学部3年生をメインとした新体制の役員を結成いたしました。これから主役となる彼ら役員に意気込みを語ってもらいます。

部長 前川 浩規 学部3年 機械システム工学

過去2年間の成績を越えられるように頑張ります。

副部長

戎野 由展 学部3年 生産システム工学

部長の補佐として、また会計担当として頑張ります。

東 宏昭 学部3年 生産システム工学

副部長として、チームをうまくまとめられるようにがんばっていきます。

テクニカルディレクター

上嶋 宏紀 学部3年 機械システム工学

目標に向かって部長ともども頑張っていきます。

会計 戎野 由展

岡田 隆志 学部3年 生産システム工学

資金管理が細かくできるよう、工夫に工夫を重ねていきたいと思えます。

渉外 草野 雄也 学部3年 生産システム工学

スポンサー様との架け橋をして、頑張っていきたいです。よろしくお願いします。

広報 澤 俊宏 学部3年 機械システム工学

学生がこのような活動をしている事をどんどん広めていきたいとおもいます。

各班のメンバー紹介

左のようなメンバー構成で、2008年第6回大会を盛り上げていきます。

■シャシ班(13名)

班長 草野雄也 学部3年 生産システム

戎野 由展 学部3年 生産システム 上条 稔恵 学部3年 物質

古谷 友樹 学部3年 生産システム 前川 浩規 学部3年 機械システム

松本 卓也 学部3年 生産システム 石森 慎弥 学部4年 生産システム

熊谷 匡明 学部4年 生産システム 近藤 圭太 学部4年 電気電子

渋谷 佑介 学部4年 機械システム 田中 和宏 学部4年 生産システム

中野 裕士 学部4年 機械システム

■パワトレ班(9名)

班長 菊地 亮太 学部3年 物質

上嶋 宏紀 学部3年 機械システム 東 宏昭 学部3年 生産システム

アハド・ファテッラ 学部3年 生産システム

ムハマド・フィルダウス 学部3年 機械システム

島田 卓弥 学部4年 機械システム 茅野 浩之 学部4年 機械システム

我妻 裕樹 学部4年 情報工学 手塚 康瑛 学部4年 知識情報

■エアロ・解析班(4名)

班長 澤 俊宏 学部3年 機械システム

岡田 隆志 学部3年 生産システム 瀬詰 知弘 学部3年 生産システム

中村 剛也 学部4年 機械システム

合計(26名)

気になるマシンコンセプト

『乗りやすさと軽量化の両立』

それを実現するにはどうするのか？

第5回大会に出場したTG02の車輛は重量200kgと4気筒エンジン搭載車としては、最も軽い部類に入るほど、軽量な車輛でした。しかし、他の何よりも軽量化を追求したために、操作性に影響が出ていました。まず、そこから見えた課題点を洗い出し、見直すことから、私たちのマシンコンセプト会議がスタートしました。

そもそも、作り上げた車輛を運転するのはドライバーであり、操作がしにくければ、速い車輛を造ったところで、車輛のポテンシャルを最大限に活用することができなくなってしまう。そこで、誰が乗っても運転がしやすいように、また市販車と同じような感覚で運転ができ、操作性の向上を狙える、デフを搭載や、3ペダル、さらにハンドルを握ったままでシフトチェンジを可能にするパドルシフトの採用を決定しました。また、ホイールベースの延長により、挙動の安定を狙います。そして、TG02では軽量化のために搭載しなかったパーツを搭載することから、重量が増える事が明らかである。車輛全体を通していかに重量を減らすのかということが、今後の課題になってくる。

技科大祭でTG02が構内を疾走

10月7日～8日に豊橋技術科学大学にて技科大祭が開催されました。多くの人が来校され盛大なものになりました。我が自動車研究部では、屋台にてタイカレーと焼き鳥を出店し多くの人が購入してくれました。ありがとうございました。また、TG02でのデモ走行を構内で行い、TG02の走る姿を多くの人に生で体験していただきました。



構内を疾走するTG02



大学にて報告会を開催

大学内のひばりラウンジにて、活動報告会を行いました。大学近郊のスポンサー様がお見えになり、第5回大会活動報告・会計報告などをさせていただきました。その後、車輛展示や、懇談会などを行いました。



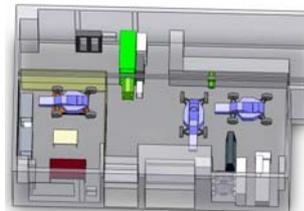
ニューマシン諸元決定

	TG01	TG02	2008年
全長	2600mm	2460mm	2460mm
全幅	1380mm	1380mm	1380mm
エンジン出力	未測定	62PS	80PS
車重	270kg	200kg	195kg

今までTG01、TG02と開発をし、得た結果、また、2008年のコンセプトから、車輛の諸元を上記のように決定いたしました。TG02と比較すると、全体で5kgの軽量、また吸気を改良することにより、エンジン出力23%アップを目指します。

大掃除でビークル研究室も綺麗に

大会前から掃除する暇も無かったビークル研究室の大掃除が行われ、すばらしい空間へと変化しました。今後、この清潔さを維持していくことで、活動効率がアップすることでしょう。



今月のひとこと by部長

早いもので、部長に就任して一カ月がたちました。一カ月前と言えば、秋刀魚を今年になって初めて食べた頃です。また、神がかった10連勝で首位にたった阪神が連敗してしまい、巨人がリーグ優勝を決めた頃でもあり、政治の世界では、福田首相との呼び名が耳に新しい頃でした。それが現在では、秋刀魚を何尾も食べ、中日が53年ぶりに日本一に輝き、福田節にも慣れてきました。あと一ヶ月と思っていた定期試験もあと1週間後、卒のないように頑張ります。



TUT FORMULA 活動理念

私たち「豊橋技術科学大学」は技術を科学で裏付け、新たな技術を開発する学問、「技術科学」の教育・研究を使命とし、この使命のもと、実践的創造的かつ指導的技術者を育成するとともに、次の時代を拓く先端的技术の研究を行うことを基本理念としています。

私たち豊橋技術科学大学自動車研究部は大学での講義と実際のものづくりを結びつけ、さらに人とお金のマネジメント能力をも養う学生フォーミュラ活動こそ、将来エンジニアとなるための最高の機会であると考えています。同じ夢を持つ仲間と日々切磋琢磨しあい、感動を呼べるもの作りを目指しています。

活動場所

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1

豊橋技術科学大学 E5-102 ビークル研究室

Web サイト

<http://tut-f.com/>

連絡先

info@tut-f.com

代表者

部長 前川 浩規

ほぼ毎日活動しております。ご見学されたい方は、上記アドレスまでご連絡を下さい。

広報室より

TUT FORMULA では、Webサイト及び毎月発行される TUT FORMULA 通信にて、毎月の出来事や活動状況を随時報告してまいります。また、全日本学生フォーミュラ大会の認知度があがるよう、また分かりやすい広報誌を作成できるよう努力してまいります。

Written by Sawa